

「見える安全活動」報告書

2018年 10月

[活動のタイトル]	Apple TV を活用したPDCA(現場運用)	<見える化の分類>
[会社名]		安全衛生情報の見える化

<活動の概要>

- 目的(課題)
当現場では敷地が広大(134,000㎡)であるため、職員・職方がリアルタイムで状況把握、情報共有することが困難であり、安全管理上問題があった。
- 手段(実施内容)
作業手順書や作業エリア、FaceTimeをAppleTVで共有し、リアルタイムでの安全管理と安全の見える化を行った。(職員全員がAppleTVへBluetoothにて接続、席にしながら現場状況をモニター管理可能)
- 効果(実施内容によって期待される効果)
作業内容および作業場所、現場状況を見える化することで、情報共有でき、社員・職方も統一された意識のもと一丸となり業務を遂行でき、「心と時間にゆとり」ができる。
- 結果(活動の成果)
「心と時間にゆとり」ができることで、現場全体の安全意識、突発的な事象への対応力向上に繋がった。また、職員の業務時間を短縮することができ、業務効率が飛躍的に向上し働き方改革に繋がった。

「見える安全活動」報告書

[活動のタイトル]

＜Apple TV を活用したPDCA（現場運用）＞

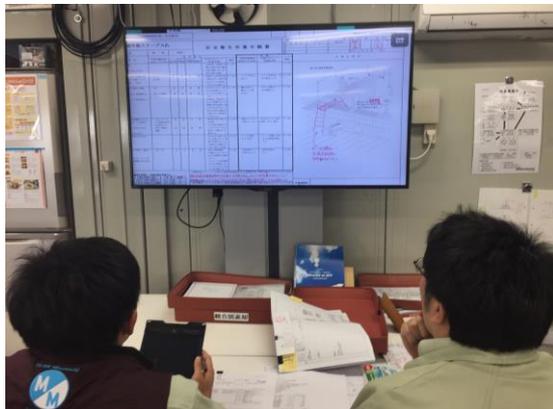
PLAN（計画）



DO（行動）



CHECK（評価）・ACT（改善）



【所内打合せ】

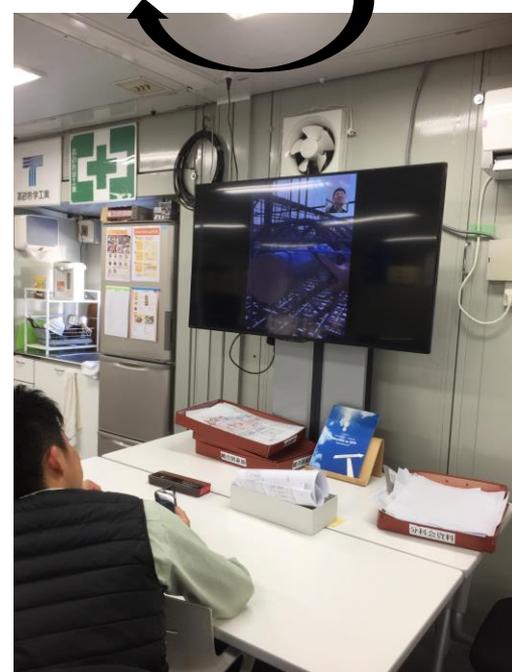
KYシート・作業手順書の
確認（全員情報の共有）



【建築工区別全体打合せ】

エリア別作業状況の確認

※Apple TVを使用している他社とデータの
共用が可能



【現場⇔所内やり取り】

安全・品質問題の瞬時解決